



永井 利明(ながい・としあき)さん  
長崎県立大学経済学部  
経済学科4年生  
愛媛県西条市出身  
佐世保の印象  
「自然が残っているのどか」



金光 正義(かなみつ・まさよし)さん  
長崎県立大学経済学部  
経済学科4年生  
熊本県合志市出身  
佐世保の印象  
「時間の流れがゆっくり」

## 佐世保市長 朝長則男 × 県立大学生



①いつごろから市長になりたかったのですか？(金光さん)

朝長市長 最終的に市長選挙への立候補を決意したのは昨年の五月です。私は二十年前(昭和六十二年)に市議会議員に初当選しました。私自身は、「地方政治をやってみよう」という理由で議員に立候補したんですけど、周囲には「将来、市長になるような政治活動をしてほしい」と言ってくれる人や、期待してくれる人が次第に増えていきました。平成六年には県議会議員となり、四期目(同十五年)になったころには、県とのつながりもでき、年齢的なことも考へて、市長選挙を意識し始めました。実は、政治家になろうということとは、小学三年か四年生の時に、将来の夢として作文に書いていたらしいんですよ。自分では全く覚えていないんですけど、市議会議員に立候補すると母親に告げた時に、そう聞かされました。もしかしたら小学生の時から思っていたのかも知れないですね。

②大学の授業で「コンパクトシティ」(注1)について学ぶことがありましたが。佐世保はその好例として全国的にも注目されているそうですが、市長はどのような考えを持っていますか？(永井さん)

朝長市長 まちの中心部にコンパクトシティという拠点ができ、病院、買い物、行政の手続きなど用事がまとめてできるということは、非常に良いことだと思います。他市のコンパクトシティは、意識的につくられたと思うんですけど、本市の場合は、自然発生的にできたコンパクトシティではないかなって思っています。本市の中心市街地は、烏帽子岳、将冠岳の間のわずかな平坦部に、商店街、公共施設、病院などが高密度に集積することで、天然のコンパクトシティをつくっています。佐世保駅から市役所までの間には、全長約一キロのアーケードがあり、他の市町村では見られないほど多くの人通りがあります。ただ、丸いまちや四角いまちならば真中にコンパクトシティがポンとあれば、みんながうまく利用できるんですけど、本市は細長い地形をしていますね。

永井さん 帯みたいなかたちですね。朝長市長 はい。そうすると、中心部だけが便利になっていいのかなって思うんですけど。皆さんは早岐地区で人口がどれくらいあるか知っていますか？周辺の日宇、江上、針尾、三川内、宮地区を合わせると人口約八万人にもなるんですよ。また、相浦地区でも、周辺の中里皆瀬、大野、柚木地区を合わせると約六万人、合併地域を含めると、約八万人住んでおられる方々や地形的なことを

## 特集 市長に聞きたい！ 県立大学生の「気になる佐世保」

ことし5月、朝長市政が新たにスタートしました。今後、佐世保はどのように変わっていくのか、市民の皆さんの関心も高いのではないのでしょうか。今回は、そんな皆さんを代表して、長崎県立大学生3人が市役所を訪れ(7月18日)、朝長市長にさまざまな質問を投げかけました。次代を担う若い皆さんの視点と朝長市長の市政に対する熱い思い。その様子の一部をお伝えします。

考えると、佐世保型のコンパクトシティは、中心市街地と連携した核となる地域が、三つか四つくらいあっても良いのではないかと思っています。一つに集中してしまうことばかりが必ずしも良いということではないと考えています。

③私は現在、大学のゼミで「地産地消」について学んでいます。市長がマニフェストに掲げていた、中学校給食との関わりについて教えてください。(永川さん)

朝長市長 中学校給食については、六月の定例市議会でも可決されたとおり、佐世保市学校給食検討委員会を設置します。そこで食育、経費の問題も含めてどういう形がいいのかを検討していただこうと思います。そして、できることから実施していきたい、将来的に全校実施を実現させたいという考え方を持っています。地産地消については、自分が生まれた地域の安全安心な魚や野菜を、生産者の皆さんに感謝しながらいただくということで、食育とも関連し、非常に大事なことだと思いますので、できる限り推進していきたいと考えています。ただ給食となると、量をどういう方法で確保するかということが難しいんですよ。安定供給にどれだけ対応しているか、地産地消の大きな課題であると思っています。また、本市の場合、小規模農家が多いため、天候などに左右



長崎県立大4年生  
永井利明

長崎県立大3年生  
永川奈々代

長崎県立大4年生  
金光正義

注1 コンパクトシティ：人口減少・少子高齢社会の到来に対応した、高齢者も含めた多くの人にとって暮らしやすい、多様な都市機能がコンパクトに集積した、歩いて暮らせる生活空間

永川 奈々代(えいかわ・ななよ)さん  
長崎県立大学経済学部  
流通・経営学科3年生  
長崎県雲仙市出身  
佐世保の印象  
「若い人が多く、にぎやか」

